

GLOBAL
CROSSVALUE
PLATFORM

株主レポート

まるべに

2024 WINTER No.137

CONTENTS

- 01 社長メッセージ
- 02 財務ハイライト
- 03 グループニュース
- 04 トピックス

Marubeni



01 MESSAGE FROM CEO 社長メッセージ

優良な投資案件を厳選し、成長投資を加速させる

株主の皆様には、平素より多大なるご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

2024年11月1日に2024年度第2四半期連結決算を公表しました。2024年度上半期の純利益は2,381億円（前年同期比-132億円）、期初に公表した通期見通し4,800億円に対する進捗率は50%となります。事業ごとの業績動向に濃淡はありますが、当社全体としては順調な進捗を達成することができました。

2024年度通期の純利益見通しは期初から据え置きの4,800億円としました。年間配当金は1株当たり90円と、期初の予想から変更しておりません。なお、非資源分野において純利益から一過性要因を控除した実態純利益の見通しは3,170億円となり、4年連続で3,000億円程度を達成する見通しです。収益基盤の強化が着実に進捗していると考えています。

また基礎営業キャッシュ・フロー^(※)と投資の回収が増額となることを踏まえ、年間のキャッシュインは期初対比合計+1,000億円改善の見通しとしました。これに伴い、成長投資の年間見通しを6,500億円(期初対比+700億円)としました。まずは成長投資への配分を増やす形となりますが、今後キャッシュ・フローおよびバランスシートの状況等を踏まえて、追加の株主還元の実施を検討したいと考えています。

今年度に6,500億円の成長投資を実施すると、中期経営戦略「GC2024」の3か年累計額は約1.4兆円となります。当社が競争優位性を有する既存事業領域を中心に成長戦略を着実に推進しており、また個別事業の積み増しにとどまらず、買収した事業会社をプラットフォームとして事業の拡がりも追求していきます。

既存事業のオーガニック成長に加え、これら成長投資の成果をしっかりと出していくことで、高い資本効率を維持しながら利益成長、ひいては中長期的な企業価値の向上を実現していきたいと考えています。

2024年度下半期以降も引き続き当社を取り巻く事業環境は不透明感が強い状況ですが、利益の更なる積み上げや、将来を見据えた収益基盤の一層の強化に努めていきます。

株主の皆様におかれましても、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(※)基礎営業キャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フローから営業資金の増減等を控除

代表取締役社長 柿木真澄



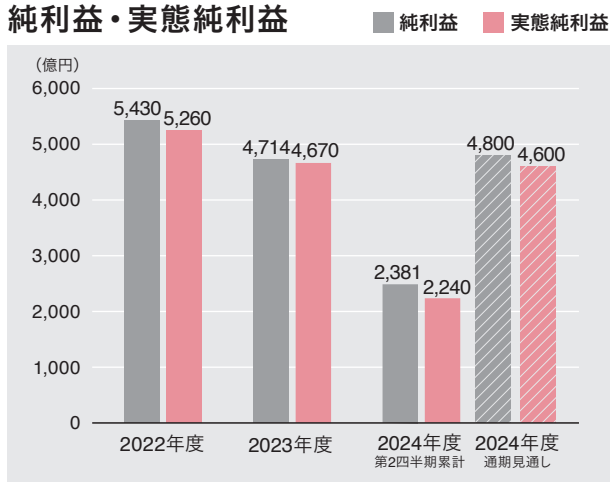
FINANCIAL HIGHLIGHT

財務ハイライト

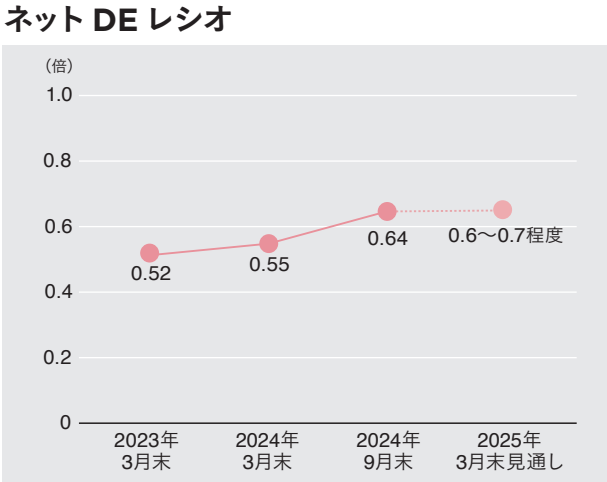
2024年度第2四半期累計期間の純利益は2,381億円（前年同期比-132億円）となり、期初に公表した通期見通し4,800億円に対して進捗率50%と順調な決算となりました。2024年度通期の純利益見通しは期初の4,800億円から変更ありません。

株主還元についても期初予想から変更なく、1株当たり年間配当予想は90円となります。中間配当金は1株当たり45円で決議済みであり、12月2日より支払いを開始します。

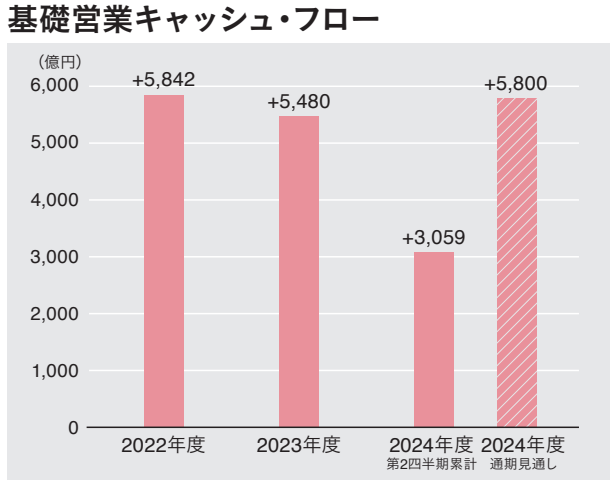
純利益・実態純利益



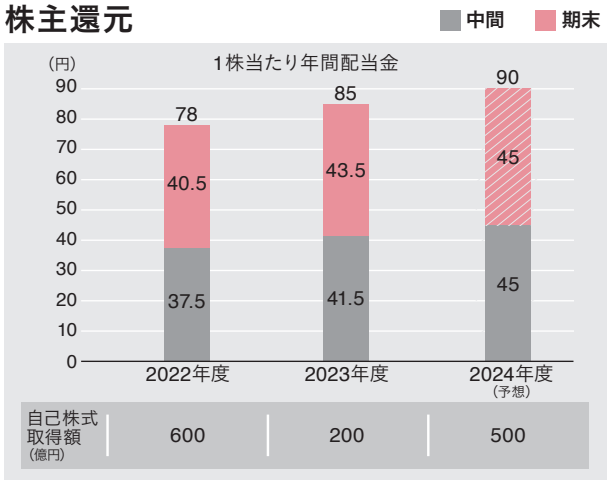
ネット DE レシオ



基礎営業キャッシュ・フロー



株主還元



※純利益：親会社の所有者に帰属する当期利益 実態純利益：純利益から一過性要因を控除した概数
※2024年度通期見通し／2025年3月末見通し：2024年11月1日に公表した通期見通し
※基礎営業キャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フローから営業資金の増減等を控除

更に詳しい情報は当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.marubeni.com/jp/ir/finance/>



セグメント別純利益

(億円)

グループ	本部	2023年度 第2四半期累計	2024年度 第2四半期累計	増減	主な増減内容
生活産業	ライフスタイル	49	43	-6	ゴム・産業資材事業及び衣料品等の企画・製造・販売事業の減益
	フォレストプロダクツ	31	80	+49	パルプ市況改善等に伴うムシパルプ事業の増益 ブラジル衛生用品製造販売事業の増益
	情報ソリューション	23	28	+4	国内携帯電話販売事業の増益
食料・アグリ	食料第一	89	67	-22	海外インスタントコーヒー製造・販売事業の減益
	食料第二	127	60	-68	国内鶏肉事業及び米国肉牛事業の減益
	アグリ事業	272	226	-47	農業資材価格の下落及び需要低迷による Helena 社の減益
素材産業	化学品	21	71	+50	石油化学品取引の改善
	金属	793	596	-196	鉄鋼製品事業の減益 商品価格の下落に伴う豪州原料炭事業及び豪州鉄鉱石事業の減益 前年同期に計上した一過性の受取配当金の反動
エナジー・インフラソリューション	エネルギー	191	145	-46	トレーディング事業の減益
	電力	280	318	+39	前年同期に計上した台湾発電所EPC（建設請負）案件に係る工事損失引当金の反動 海外発電事業の増益
	インフラプロジェクト	64	54	-10	前年同期に計上した海外水事業における一過性利益の反動
社会産業・金融	航空・船舶	121	185	+64	航空関連事業における需要増加に伴う増益 船舶市況の改善に伴う船舶保有運航事業の増益
	金融・リース・不動産	242	407	+165	みずほリース社の関連会社化に伴う増益 航空機リース事業の増益 米国中古車販売金融事業の減益
	建機・産機・モビリティ	157	95	-62	建設機械事業、産業設備事業及び自動車関連事業の減益
CDIO	次世代事業開発	△ 1	△ 5	-3	前年同期に計上したヘルスケア事業における一過性利益の反動
	次世代コーポレートディベロップメント	△ 14	△ 7	+7	米国ライフスタイルブランド運営会社の子会社化による増益
その他		69	20	-49	
全社合計		2,513	2,381	-132	

※2024年度よりオペレーティング・セグメントの「情報ソリューション」の一部を「インフラプロジェクト」に編入しております。この変更に伴い、本資料では2023年度のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております
※みずほリース社の関連会社化に伴う増益には負ののれん発生益が含まれています。なお、負ののれん発生益は、取得資産及び引受負債の公正価値評価が完了していないことから、現時点で入手しうる情報に基づいた暫定的な金額となります

Group News グループニュース(2024年4月～2024年9月)

グローバルに広がる、丸紅グループの最新トピックやプロジェクトを幅広くご紹介します。

更に詳しい情報は当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.marubeni.com/jp/news/>



デンマーク

インフラプロジェクト本部

2024.7.19 リリース
デンマーク王国AquaGreen Holding ApS への出資参画について

サウジアラビア

電力本部

2024.5.23 リリース
サウジアラビア王国・アルガットおよびワードアルシャマル風力発電案件の2案件受注・売電契約締結について



シンガポール

建機・産機・モビリティ本部

2024.4.4 リリース
シンガポール・電子部品卸売会社DTDS Technology Pte Ltd への出資参画について

インドネシア

電力本部

2024.4.5 リリース
インドネシア・ジャワ1ガス焚き火力発電所の商業運転開始について



タイ

ライフスタイル本部

2024.9.6 リリース
タイにおける廃タイヤ熱分解リサイクル事業への出資参画について

日本

情報ソリューション本部

2024.4.4 リリース
スマートフォン等の買取・販売を行うイオシス社への出資参画について



フォレストプロダクツ本部

2024.6.27 リリース
日本のコンテンツの世界展開を目的とした新会社設立について

米国

金融・リース・不動産本部

2024.6.27 リリース
米国大手フリートマネジメントカンパニー・Wheels 社への出資参画について



金融・リース・不動産本部

2024.7.2 リリース
米国航空機リース会社Aircastle Limitedの5億米ドルの増資引受完了について



ベトナム

次世代事業開発本部

2024.6.12 リリース
ベトナムAmata City Halong 工業団地への事業参画について

次世代コーポレートディベロップメント本部

2024.8.5 リリース
ベトナム大手食品原料・機能性食品素材サプライヤー AIG Asia Ingredients Corporation への追加出資について

食料第一本部

2024.7.31 リリース
米国における食用スペシャリティ油脂の加工・販売事業への参入について



次世代コーポレートディベロップメント本部

2024.6.10 リリース
米国におけるライフスタイルブランド運営事業への参入について



えっ、これも丸紅！？ あなたの毎日を支える商品たち

丸紅グループでは様々な消費者向け商品を取り扱っております。
店舗やECサイトを通じて、ぜひ応援の程よろしくお願いいたします。



アトリオン製菓の
ヨーグレットとハイレモン



OSAJIの化粧品



ラコステのポロシャツ



ウェルファムフーズの
森林どり



MERRELLの
ジャングルモック



※各商品の概要はQRコードを読み取ってご覧ください。

PICK UP

丸紅ギャラリー企画展

企画展

2024年11月26日（火）～12月21日（土）

八幡垣睦子 — 古裂のメタモルフォーゼ

The Quilt Art of Yawatagaki Mutsuko:
The Metamorphosis of Ancient Fabric Fragments
〔共 催〕出雲キルト美術館

八幡垣睦子は、欧米の伝統的なキルト技法を土台としながら、江戸時代から昭和時代の染織古裂を素材に、花鳥風月など日本の伝統的モチーフを独自の感性で表現してきました。
「後世へ伝承する一助になりたい」と語るように、八幡垣の作品の中で古裂が新しい芸術作品へと変容（メタモルフォーゼ）することで、個々の古裂に込められた無数の物語が作家の思いとともに再生されていきます。本展では、同氏の初期作品から最新作までの多様なキルトの芸術をご鑑賞頂けます。



八幡垣睦子《丸》2024年 出雲キルト美術館蔵

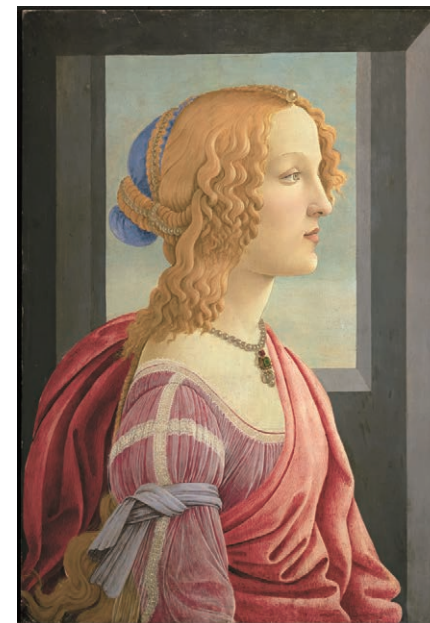
企画展

2025年3月18日（火）～5月24日（土）

美術館の春まつり

『ボッティチェリ 美しきシモネッタ』特別公開展（仮題）

丸紅が所蔵する、日本で唯一のボッティチェリによる肖像画《美しきシモネッタ》を特別公開します。初期ルネサンスの画家であるボッティチェリは、「フィレンツェの春」あるいは「ルネサンスの春」の象徴的存在であった天折の美女シモネッタ・ヴェスプッチを幾度となく描いたと言われています。2022年冬に開催したシモネッタ展が好評を博したため、再び開催いたします。



サンドロ・ボッティチェリ《美しきシモネッタ》15世紀後半

丸紅ギャラリー概要

〔住 所〕東京都千代田区大手町一丁目4番2号 丸紅ビル3階
〔開館時間〕10:00～17:00（入館は閉館の30分前まで）
〔休 館 日〕日曜日、祝日、年末年始、展示替え期間
〔そ の 他〕入館料等、その他概要についてはHPをご覧ください



新たな社会貢献活動方針を策定しました

2024年7月、丸紅グループの新たな社会貢献活動方針を策定しました。社会情勢や自然環境の加速度的な変化に伴い、世界中でさまざまな課題が顕在化している中、これまでの企業活動を通じて培ってきた有形無形の資産をより社会に還元できる活動を志向し、「文化保全・継承」「共生社会」「自然・環境」の3本の柱と「災害復興・人道支援」を中心に、活動方針を再定義したものです。

文化保全・継承

祖業である繊維業に関わりの深い染織品、染織図案および和洋絵画などの所蔵品を通じて得た知見やネットワークを生かし、丸紅コレクションの修復・保全や丸紅ギャラリーでの文化財の公開を通じて、伝統文化・技術の保全と未来への継承に取り組めます。

共生社会

社会福祉法人丸紅基金や海外奨学基金を通じて、あらゆる人が参加可能な共生社会の実現に貢献します。

自然・環境

グループ各拠点の周辺の自然・環境に資する活動への参加を推進するなど、丸紅グループが志向する脱炭素化、循環経済への移行、自然との共生を、社会貢献活動を通じても追求します。

災害復興・人道支援

災害規模や緊急性を勘案しながら機動的に対応していきます。

企業の社会的使命として、上記活動を積極的に推進していきます。具体的な活動内容は丸紅公式WebサイトやSNSでも随時発信していきますので、ぜひご注目ください。



TOPIC 1 3億円の社会福祉助成決定（丸紅基金）

社会福祉法人丸紅基金（理事長：柿木真澄）は、2024年度（第50回）の社会福祉助成先を決定しました。丸紅基金は1975年より毎年総額1億円の助成を続けてきました。50周年を迎える2024年度から助成金額を最大3億円に拡大、148件の助成を実施します。助成先は、障がい者、児童・青少年、高齢者関連の施設・団体など多岐にわたり、ひきこもり支援、女性保護に従事する団体や、子ども食堂、フードバンクなど、民間基金の特質を生かし、公の機関の手が届きにくいと思われる団体、先駆的・開発的な案件に特に配慮して採択しています。

TOPIC 2 能登半島災害復興支援ボランティアを派遣

令和6年能登半島地震および能登豪雨により被害に遭われた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

丸紅では2024年5月より、富山県氷見市、石川県七尾市・輪島市・穴水町に能登半島災害復興支援ボランティアとしてグループ社員を派遣しています。これまでに延べ151名（2024年9月現在）のグループ社員が活動に参加し、現地での家屋の片付け・清掃などの活動に取り組んでいます。被災地の一日も早い復興を願い、今後も被災者の皆様のニーズに応える活動を行っていきます。



日本経済新聞に社会貢献活動に関する広告を掲載しました。

広告の詳細はコチラ



丸紅基金



重要文化財
修理事業

『統合報告書2024』を 丸紅ホームページで公開しました。

『統合報告書2024』では、当社の価値観や経営理念に加え、価値創造ストーリー、培ってきた経営資本、中期経営戦略など、当社の価値創造の基盤や目指す姿を示すとともに、2023年版に引き続き「稼ぐ力の継続強化」「ROEの維持・向上」および「株主資本コストの低減」を軸に、中長期的な企業価値の向上を目指す丸紅グループの姿を紹介しています。

右のQRコードからは是非ご覧ください。

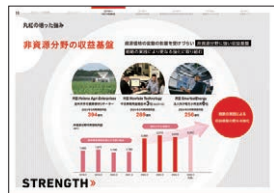
統合報告書2024



表紙



CEOメッセージ



丸紅の培った強み



価値創造ストーリー

株式事務に関するご案内

- 未払配当金のお支払い
みずほ信託銀行・みずほ銀行
- 住所変更等の各種お問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
☎0120-288-324
(電子提供制度専用ダイヤル) ☎0120-524-324

※証券会社に口座をお持ちの株主様は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
単元株式数	100株
上場取引所	東京
公告方法	電子公告 (当社の電子公告は、当社ウェブサイトの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。) https://www.marubeni.com/jp/koukoku.html
証券コード	8002
ウェブサイト	https://www.marubeni.com/jp/

会社概要 (2024年9月30日現在)

会社名	丸紅株式会社 (英文: Marubeni Corporation)
創業	1858年5月
設立	1949年12月1日
資本金	263,711百万円

丸紅公式SNS



株主レポート まるべに No.137 (年2回発行) 2024年11月29日発行 発行人/石田哲也
発行/丸紅株式会社 IR・SR部 〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号



環境保全のため、環境に配慮した植物油インキで印刷しています。

将来見通しに関する注意事項: 本紙に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述等は、本紙の発行日現在において入手可能な情報やそれをもとにした当社の仮定・判断に基づくものであり、将来の業績を保障するものではありません。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本紙の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本紙に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述等についてアップデートして公表する義務を負うものではありません。